

## 戦時中の飢えと終戦時の食料のこと

匿名希望（祖父から聞いた話）

父方の祖父が4歳の時に戦争が始まり、当時は大阪府に在住していたので、大阪の大空襲を経験。とにかく食べるものがなく、近くの草を食べて飢えをしのいだそうです。時には、爆撃機の護衛をしていた戦闘機からの機銃掃射にも遭い、安心して歩くことも出来なかったとのこと。

戦争が終わった時、家の近くに陸軍の兵舎があり、近所の人たちと、軍人の食糧庫からみそや塩といった食品を取り合い、戦後を生き抜いたと話していました。